



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 株式会社エスイー 上場取引所 東
 コード番号 3423 URL <http://www.se-corp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮原 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 野島 久弘 TEL 03-3340-5500
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	16,249	△0.8	718	48.8	738	66.5	267	154.7
2020年3月期第3四半期	16,373	3.8	483	△23.4	443	△26.3	105	△68.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 350百万円 (△22.6%) 2020年3月期第3四半期 453百万円 (75.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	8.92	—
2020年3月期第3四半期	3.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	22,848	8,405	36.7	279.80
2020年3月期	22,031	8,326	37.6	277.14

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 8,396百万円 2020年3月期 8,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,380	△2.0	914	△14.1	922	△13.2	387	43.2	12.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	31,256,600株	2020年3月期	31,256,600株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,248,528株	2020年3月期	1,348,528株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	29,974,739株	2020年3月期3Q	29,908,072株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により極めて厳しい状況となっております。日本では、4月の緊急事態宣言の発出、外出自粛・休業要請、海外への渡航制限等により、企業活動や個人消費が著しく制限され、2020年4～6月実質GDPは前期比マイナス8.3%（年率換算マイナス29.2%）となりました。緊急事態宣言の解除後、段階的な経済活動の再開、政府政策等により、7～9月実質GDP（2次速報値）は前期比プラス5.3%（年率換算プラス22.9%）と持ち直しが見られたものの、経済は落込みから未だ十分に回復した状態には至っておりません。更に、11月頃より新規陽性者数が従来をはるかに上回る速度で全国的に増加するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループと関連の深い建築・土木市場においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定された工事等が延期・中止になるなどの影響が一部において発生しており、特に海外事業については現地経済活動の停滞や渡航制限により、売上減少等の影響を受けております。

このような経営環境のもと当社グループでは、6月に公表した「中期経営計画2020～2022」において、2030年頃を見据えた「2030ビジョン」実現のために、①思い切った経営資源の戦略的投入、②既存事業基盤の再構築と新たな価値の創造、③持続可能な企業価値向上のための経営基盤の強化の基本方針のもとに、事業環境が良好な建設用資機材の製造・販売事業を中心として収益性・生産性を向上させ、同時に本中期経営計画終了後の飛躍的な成長のための施策を実施しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、建設用資機材の製造・販売事業は好調を維持しました。一方、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う建築用資材の製造・販売事業の建築金物分野での需要減少、建設コンサルタント事業での海外現地活動延期の影響を受けました。その結果、売上高162億49百万円（前年同期比0.8%減）と減収となりました。

利益面では、新型コロナウイルス感染症拡大による売上高減少の影響がありましたが、比較的利益率の高い建設用資機材の製造・販売事業の売上高が増加したことにより、営業利益7億18百万円（前年同期比48.8%増）、経常利益7億38百万円（前年同期比66.5%増）となりました。また、ベトナム・バックダン橋事業運営会社株式の評価損を特別損失として計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益2億67百万円（前年同期比154.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（建設用資機材の製造・販売事業）

この事業では、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」への対応が進められているなか、日本各地で発生が相次いだ地震・豪雨災害などの対策工事が進められております。そのようななか、当第3四半期連結累計期間におきましては、ケーブル製品分野の『グラウンドアンカー』及び鉄鋼製品分野の『KIT受圧板』において豪雨災害対策工事を中心とした販売、落橋防止装置等橋梁耐震補強製品の販売、コンクリート製品分野での河川災害用ブロック等の販売が好調に推移し、増収増益となりました。

この結果、この事業の売上高は86億70百万円（前年同期比17.0%増）、営業利益7億65百万円（前年同期比104.0%増）となりました。

（建築用資材の製造・販売事業）

この事業では、セパレーター・吊りボルト等を中心とした建築金物分野において、新型コロナウイルス感染症拡大による民間建築工事の中断や内装工事の減少等により製品納入の期外への延期や中止となったこと、鉄骨工事分野において期初受注残が前年同期比減となったことおよび新型コロナウイルス感染症拡大による工事遅延により、売上・利益とも低調に推移しました。

この結果、この事業の売上高は61億43百万円（前年同期比12.9%減）、営業利益2億54百万円（前年同期比24.7%減）となりました。

(建設コンサルタント事業)

この事業では、フランス語圏での強みを生かして、アジア・アフリカ圏をはじめとする各国での道路・橋梁建設や公共性の高い設備機材整備、環境改善等についてのコンサルタント事業を展開しております。また、新規分野として国内外におけるBIM/CIM適用事業支援業務への参画を目指しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による海外現地活動の中断及び来期への工期延長の影響が大きく、低調に推移しました。

この結果、この事業の売上高は37百万円（前年同期比90.4%減）、営業損失は1億92百万円（前年同期は22百万円の営業損失）となりました。

(補修・補強工事業)

この事業では、社会インフラ老朽化対策における橋梁、トンネルの補修・補強工事を推し進めております。国土強靱化対策等が進捗しており、受注環境は引続き良好に推移しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、受注残が前年同期より少なかったことが大きく影響し、前年同期比を下回る売上高となりました。利益面では利益を重視した受注および追加工事の増額により、前年同期より大きく増加しております。

この結果、この事業の売上高は13億97百万円（前年同期比8.3%減）、営業利益1億74百万円（前年同期比156.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は228億48百万円（前連結会計年度末比8億17百万円増）となりました。内訳は、流動資産149億34百万円（前連結会計年度末比5億69百万円増）、有形固定資産62億42百万円（前連結会計年度末比3億6百万円増）、無形固定資産2億46百万円（前連結会計年度末比45百万円減）、投資その他の資産14億24百万円（前連結会計年度末比13百万円減）でありました。資産の増加の主な要因は、現金及び預金が9億39百万円、仕掛品が2億33百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が7億8百万円、電子記録債権が1億71百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は144億42百万円（前連結会計年度末比7億38百万円増）となりました。内訳は、流動負債が95億72百万円（前連結会計年度末比5億90百万円増）、固定負債が48億70百万円（前連結会計年度末比1億47百万円増）でありました。負債の増加の主な要因は、短期借入金が4億10百万円、その他流動負債が4億31百万円増加しましたが、社債・長期借入金（一年内含む）が1億75百万円、未払法人税等が1億77百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は84億5百万円（前連結会計年度末比79百万円増）となりました。純資産の増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が2億67百万円、その他有価証券評価差額金が1億15百万円増加しましたが、株主配当金の支払いにより利益剰余金が2億99百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2020年10月26日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、2021年2月5日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,433,500	4,372,837
受取手形及び売掛金	6,665,643	5,956,858
電子記録債権	1,600,698	1,429,022
商品及び製品	554,175	617,008
仕掛品	668,710	902,101
原材料及び貯蔵品	1,293,291	1,364,634
その他	178,691	322,102
貸倒引当金	△28,773	△29,625
流動資産合計	14,365,936	14,934,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,973,725	1,934,208
機械装置及び運搬具（純額）	768,758	748,201
工具、器具及び備品（純額）	72,506	88,187
土地	2,788,898	2,925,875
リース資産（純額）	323,318	420,725
建設仮勘定	8,415	125,180
有形固定資産合計	5,935,623	6,242,379
無形固定資産		
のれん	217,999	175,937
その他	73,991	70,462
無形固定資産合計	291,991	246,400
投資その他の資産		
投資有価証券	644,310	598,764
その他	816,727	849,146
貸倒引当金	△23,547	△23,534
投資その他の資産合計	1,437,490	1,424,376
固定資産合計	7,665,104	7,913,155
資産合計	22,031,041	22,848,094

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,348,456	4,387,080
電子記録債務	1,318,521	1,455,871
短期借入金	310,522	720,522
1年内返済予定の長期借入金	1,361,241	1,178,611
1年内償還予定の社債	177,000	177,000
未払法人税等	273,292	95,666
賞与引当金	132,434	65,216
その他	1,060,255	1,492,110
流動負債合計	8,981,722	9,572,078
固定負債		
社債	188,000	99,500
長期借入金	3,082,157	3,177,333
役員退職慰労引当金	528,420	557,895
退職給付に係る負債	417,788	409,975
資産除去債務	146,621	159,738
その他	359,937	466,175
固定負債合計	4,722,923	4,870,617
負債合計	13,704,646	14,442,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,228,057	1,228,057
資本剰余金	991,898	1,000,924
利益剰余金	6,100,785	6,069,223
自己株式	△247,777	△229,403
株主資本合計	8,072,963	8,068,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	184,574	299,621
退職給付に係る調整累計額	31,307	27,735
その他の包括利益累計額合計	215,882	327,357
非支配株主持分	37,548	9,239
純資産合計	8,326,395	8,405,398
負債純資産合計	22,031,041	22,848,094

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
売上高	16,373,364	16,249,514
売上原価	12,322,926	12,091,699
売上総利益	4,050,437	4,157,815
販売費及び一般管理費	3,567,252	3,439,001
営業利益	483,184	718,814
営業外収益		
受取利息	118	111
受取配当金	5,558	7,099
受取手数料	7,704	3,941
受取家賃	6,781	6,372
為替差益	—	1,192
貸倒引当金戻入額	286	944
補助金収入	—	21,891
その他	28,162	19,838
営業外収益合計	48,611	61,392
営業外費用		
支払利息	25,916	22,646
売上割引	14,296	14,191
為替差損	1,904	—
寄付金	3,166	2,545
持分法による投資損失	37,279	—
その他	5,726	2,338
営業外費用合計	88,291	41,721
経常利益	443,504	738,484
特別利益		
固定資産売却益	1,299	1,539
投資有価証券売却益	—	34
特別利益合計	1,299	1,574
特別損失		
固定資産売却損	3,502	41
固定資産除却損	413	4,517
投資有価証券売却損	18,735	—
投資有価証券評価損	—	210,885
役員退職慰労金	47,700	—
災害による損失	3,219	—
特別損失合計	73,569	215,444
税金等調整前四半期純利益	371,235	524,614
法人税等	268,548	285,405
四半期純利益	102,686	239,208
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△2,348	△28,309
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,034	267,518

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	102,686	239,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	353,061	115,047
退職給付に係る調整額	△5,728	△3,572
持分法適用会社に対する持分相当額	3,303	—
その他の包括利益合計	350,636	111,474
四半期包括利益	453,323	350,683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	455,671	378,993
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,348	△28,309

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設用資機 材の製造・ 販売事業	建築用資材 の製造・販 売事業	建設コンサル タント事 業	補修・補強 工事業			
売上高							
外部顧客への売上高	7,410,639	7,049,806	389,712	1,523,205	16,373,364	—	16,373,364
セグメント間の内部売上 高又は振替高	364,666	—	—	4,100	368,766	△368,766	—
計	7,775,306	7,049,806	389,712	1,527,305	16,742,130	△368,766	16,373,364
セグメント利益又は損失 (△)	375,249	337,643	△22,205	67,981	758,668	△275,484	483,184

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△275,484千円には、セグメント間取引消去10,563千円、のれんの償却額△42,062千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△243,985千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設用資機 材の製造・ 販売事業	建築用資材 の製造・販 売事業	建設コンサル タント事 業	補修・補強 工事業			
売上高							
外部顧客への売上高	8,670,814	6,143,906	37,569	1,397,225	16,249,514	—	16,249,514
セグメント間の内部売上 高又は振替高	193,554	7,701	—	16,875	218,130	△218,130	—
計	8,864,368	6,151,607	37,569	1,414,100	16,467,645	△218,130	16,249,514
セグメント利益又は損失 (△)	765,673	254,266	△192,247	174,190	1,001,883	△283,069	718,814

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△283,069千円には、セグメント間取引消去4,594千円、のれんの償却額△42,062千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△245,601千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。